

北

ホク
きた



みぎむ ひと かたち ひだりむ ひと かたち せなかあ
 右向きの人の形と左向きの人の形とを、背中合わせに組

あ かたち ふたり せなかあ かたち
 み合わせた形。二人が背中合わせになった形なので、

「せなか、そむく」の意味となる。また、敵に背中を向

けて逃げることを敗北はいぼくといい、「にげる」の意味にも使うつか。

おう ぎしき とき みなみむ おう せ む ほう
 王は儀式の時、南向きにすわるので、王が背を向ける方

こう ほうこう ほく ほうい いみ
 向、そむく方向を北といい、方位の「きた」の意味となる。